SHARP

シャープ社友会 栃木支部会報

第２７号

nikko

2011.1.1発行
発行責任者 岩村 博

http://tcg-syayu.web.infoseek.co.jp/index.html

「中禅寺湖畔から男体山を望む」　撮影：只友将弘（会員番号２０２６）

新年あけまして おめでとうございます

栃木支部長　岩村　博

新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様いかがお過ごしでしょうか。いつまでも充実した日々で在りますように願っています。

私たち、社友会の会員も年々高齢になっていきます。自分の健康は自分で管理する事が大切でありますが、支部では健康相談の窓口になっていきます。

さて、栃木支部は12月で会員が360名を超す大きな組織に発展してきました。会員個々に保有している専門知識や技能は幅広いものがあります、現職を離れ個人の生きがいを見出し、会員の活動応援するのも社友会の重要な役割でもあると考えます。会員の生きがいづくりのサポートと専門知識や技能とともに多くの会員は海外経験があり、これらの知的財産を地域・社会に貢献できる活動にも取り組んでいきたい。

支部会報（ｎｉｋｋｏ）は編集委員を任命し、この編集委員会で作成。年2回（1月・6月）継続発行ができています。

ホームページについても専任の副支部長を決め、運営委員を任命し委員会を開き、ホームページに関わる研修も含め、更なる充実に努めています。

シャープサマーフェスティバルには協賛行事として参加しています。支部では会員の皆さんから物品の提供をして頂き愛のチャリティーバザーの出店をしました。チャリティーカンパ・チャリティーバザーの売上げを合わせ「矢板市社会福祉協議会」に寄付しました。

また、私たち会員も社会への貢献を支援していくという事でシャープグリーンクラブ（ＳＧＣ）を推進主体として地域の環境保全活動などボランティア活動の取り組みに参加しています。

会員の交流・懇親の場となる各クラブの活動が活発にできるよう支援もしていきます。支部20周年を機にクラブ援助金を見直し倍額にアップしています。

役員・幹事の会議出席時の交通事故保険は年掛け金七百円で最高百万円の災害補償に加入しました。

今年も温泉地で一泊の支部賀詞交歓会と春の懇親行事を実施します。具体的内容は決まりしだい、ご案内致します。

今年も社友会の運営に、会員皆様のご協力を頂けますようお願い申し上げます。

新春のご挨拶

シャープ労働組合 栃木支部
執行委員長　印南幸裕

新年あけましておめでとうございます。

社友会栃木支部の皆様方には、希望に溢れた新年を迎えられたこととお喜び申し上げます。

日頃は、岩村支部長をはじめ多くの皆様に労働組合の活動に対しまして、ご理解とご協力を頂いている事に心より感謝申し上げます。

このところの日本経済は欧州・ギリシャ危機を発端とした金融市場の混乱、ユーロ安をきっかけとした円高や雇用の悪化など先行き不安材料も多く、安定的な回復軌道に乗るかどうかは、予断を許さない状況下にあります。

また、雇用情勢についても失業率は高止まりのまま、求人倍率や新卒の内定率など依然として厳しい実態が続いています。

電機産業の動向としては、産業・企業全体として生産や収益面で一時期の極めて深刻な事態からは脱しつつあります。また、中国・インドをはじめとする新興国の需要やエコポイントによる政策効果に支えられ、経常利益は見通し赤字から黒字に転換し、回復基調が感じられて来ています。

そのような中で、矢板工場ではエコポイントの延長

（3ページ下段につづく）

二〇一一年を迎えて

AVシステム事業統轄
兼 AVシステム事業本部長
執行役員　中村　恒夫

新年明けましておめでとうございます。

昨年九月一日付にて、AVシステム事業統轄に就任しました中村でございます。

シャープ社友会栃木支部の皆様方には、健やかな新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

日頃は、シャープ製品のご愛用、並びに当社社員に対する温かいご指導、ご鞭撻を賜り、会社を代表して心から感謝申し上げます。

昨年のAVシステム事業を振り返りますと、国内については、「エコポイント」特需やアナログ放送停波に向けた買替え需要を追い風として、好調に推移した中、七月に四原色パネルを搭載したAQUOSクアトロン3DやBDXL(大容量記録規格)に対応したBDレコーダーの発売などオンリーワン商品の創出により、更なるAQUOSブランドの向上を図ってまいりました。

また、海外においても、AQUOSクアトロンを核としたグローバルデザインモデルを展開し、更なるブランド力強化に取り組みました。中でも、成長が著しい中国では、ラインアップの強化や販売網の拡充に取り組み、トップクラスの金額シェアを獲得しています。

さて今年度は、国内においては、アナログ放送停波が七月に予定され、ブラウン管テレビから液晶テレビへの買い換え需要が最後の盛り上がりをみせる反面、七月以降には急速に液晶テレビの需要が縮小することが懸念されます。このように厳しい市場環境に一変するとの覚悟を持ち、液晶テレビ、BDレコーダー共に、これまで以上のダントツの市場シェアアップを図るとともに、新規カテゴリー商品を創出し、新たな需要創造に取り組んでまいります。

一方、海外に目を転じますと、中国を筆頭に、アジア・新興国の市場は急拡大しており、事業拡大のチャンスが拡がっています。海外では、当社の堺工場が得意とする60型以上の大型液晶を武器に新しい液晶テレビ市場の創造に取り組みます。また、BDレコーダーでは、商品力強化によって、トップクラスのシェアを堅持すると共に、海外向けBDプレーヤーの拡販等による、デジタルメディア事業の拡大に取り組みます。

日本及び全世界の経済環境は、先行きが不透明な状況ではございますが、変化に機敏に対応し、今まで以上にグローバルでの事業展開を強力に推進し、より一層のAVシステム事業の拡大を目指してまいります。

社友会の皆様方におかれましては、これらAV商品に加え、LED電球、プラズマクラスターイオン発生機、メディアタブレット「GALAPAGOS」など当社製品への一層のご愛顧並びにご支援を賜ります様、よろしくお願い申し上げます。

末筆ながら、シャープ社友会栃木支部の益々のご発展、会員の皆様方のご健勝とご多幸をご祈念申し上げ新年のご挨拶とさせていただきます。

やクリスマス商戦などで液晶テレビの増産が続き生産部のフル残業や間接部門の生産応援など栃木事業所が一丸となって乗り切りました。今年の3月までエコポイントが延長されたことから引き続き、忙しい日々が続くものと考えられます。

しかし4月以降の生産については液晶テレビが前倒しで購入いただいたことで、販売の大幅ダウンが懸念されます。このため、エコポイントの切れる4月以降については操業が低下をして雇用関連が悪化をすることが考えられることから、労組としても注視をして行くことが大切です。

本年4月の統一地方選で中村副委員長が矢板市の市議会選挙で3期目の挑戦をいたします。

この間栃木支部においては200人近い組合員が定年退職をいたしました。また連合の働く仲間も組織人員を減らし大変厳しい選挙戦が予想されています。支部としても当選に向け組織を挙げて戦いますが、社友会の皆様の御支援をよろしくお願い致します。

シャープ社友会栃木支部の益々の発展と会員皆様のご健勝を心からご祈念申し上げます。

本年もよろしくお願いいたします。

喜寿を迎えて

会員番号　〇五六一
道畑　一三

喜寿のお祝いをいただきありがとうございます。

退職して十七年が過ぎ、思い起こせば、定年後自由な時間を手に入れ趣味のゴルフに夢中になり腰、肩を痛めてしまったのでプレーが出来なくなった。

また、在任中経験できなかったことと言えば、我が子三人の子育てを妻に任せきりにし子育てに参加することもままならなかった私が、三人の孫の幼稚園から小学校の授業参観を含め数々の行事に参加し、また大学の入学式、大学祭、卒業式と孫の成長と共に経験でき、かけがいのない喜びを味わえた。

また、子供たちの休みの日に国内、海外旅行に、キャンプに、そして、ジャニーズの公演にまで誘われ私達には味わえない経験が出来た。

これらのイベント、旅行をテーマにしてパソコンで処理するなど色々と経験できたが、家の中の趣味は目を傷めるので、出来るだけ機会を見つけて外出する。例えば、見たいと思う映画があれば、宇都宮郊外にある「インターパーク」までドライブがてら映画鑑賞に出かける。大スクリーンに大音響で楽しむ映画は臨場感抜群である。映画を楽しんだ後に、タウンウオッチングを兼ね一日ゆったり過ごし都会感覚を味わう。

新しい経験と楽しい体験を増やすよう常に前向きに「一日一日を大切に」をモットーに過ごして行きたい。

古希を迎えて

会員番号　一六七八
山口　一武

技術センターで、機構設計を担当していた山口でございます。古希を迎え、感想を述べさせていただきます。

雨が降る不愉快な朝でも、グッドモーニングという変な英語がありますが、古希という言葉は好きですね。多分、杜甫の詩の「人生七十年古来稀なり」という文言に源を発するのではと思っております。

七十ともなれば、人間、角がとれ、世の中を転がっていくのに骨が折れなくて楽ちん。丸いものは転がるのにごろごろと何所へでも苦なしに行ける。どうせ自分一人の世の中じゃなし、神経ばかり痛めては身体は悪くなる。とどのつまりは、骨折り損のくたびれ儲け。

現在、二つの会社に籍をおいて、新製品の設計をしたり、監査役として執行役員諸君の奮闘ぶりを支援しています。未公開企業なので、彼らは、ストックオプション獲得に懸命です。

もうひとつ好きな言葉に、喜寿があります。七十七まで生きれば、今は亡き父、母に、「ここまで維持できた身体を授けてくれて有難う。これで人生平均点だね」と言えそうなので、あと数年頑張らなくては・・・

会員番号　一六九二
川崎　精一

シャープを定年退職後、早や十年、古希を迎えた今も気持ちは現役当時と変わらず何か地域に役立つ事が無いかと、那須塩原市役所広報部の一員として地域の人々と活動しています。

過去を顧みますと、現役当時は会社人間で仕事一筋で、全くといって良いほど家庭を振り向くことは無かったと思っています。

今日あるのも根が健康で体を動かすことが好きな方ですが、忘れてならないのが家族の良き理解と協力があったものと感謝しております。

私の元気の源は、「明るい気持ちを持つ」「体を動かす」「家族（人）との会話をする」「何でも好んで食べる」「適量の晩酌をする」・・・を日々心掛けこれからも家族・子供達・孫達の為にも日々健康で、良きじいちゃんであり、生涯現役の気持ちでこれからの人生を頑張って行きたいと願っています。

古希になっての憂い事

会員番号　一六九六
田村　榮

古希を迎え、家族は勿論の事、周りの人達に感謝で一杯です。

最近こんな世の中に誰がしたとの声を聞きます。

今年の初め、身障の子供達とスキーをする機会が有り、三日間楽しく過ごしました。寒い中をスキーをする姿は、周りの雪景より美しく感じました。しかし、出来事は、子供達の列に三十代前後の男性が突っ込んできました。「馬鹿野郎、もたもたするな！」あやうく大事に逢うところでした。

もう一件は、九月四日清掃登山で那須三本槍の出来事。頂上の昼時、若い女性群、トマトのヘタを投げ捨て、ヘタが私に当たり、注意したところ、そんなところに立っているのが悪い。罵声、仲間達は注意する事

なく、笑っているのみ！

家に帰り、こんな世の中に誰がしたと言ったら、今の七十代、八十代の指導・教育が悪かったのでは！

私の古希の感想です。『何とかしなければ！』

会員番号　一九一二
吉田　稔

七十歳になってしまいました。年は勝手に来て、勝手に去って行くものと実感しています。

私は昭和四十三年十月二十日に羽田を発って、平成十一年九月三十日に成田に戻りました。その間、二年半ずつ二回帰国しています。行く時は1ドル360円（当時のテレビ事業部稲見常務から「俺の給料より高い」と言われました）で、帰った時は、120円でした。

今は80円ですから、これまた隔世の感があります。技術的に言うと、真空管で行ってＬＳＩで帰り、アナログで行ってデジタルで帰って来たことになります。

帰国してよく聞かれることに、「そんなに長くいたら英語はぺらぺらでしょう」と言うのがありますが、残念ながら語学は才能が必要で、それがないので「ぺ」くらいで終わっています。

退職してから、少し、あまり面白くない翻訳をしていましたが、それもこの不況と自分の根気が続かなくなりましたので、止めて、現在はボケ防止のために大きな活字の本を読んでいます。

幹事コーナー

思うこと

第二班幹事　悦内　芳孝

現役中は皆様と同じように大変忙しい毎日を送って来ましたので、定年前には誰からも「暫くはエンジンをアイドリング状態に保ち決して直ぐには止めないよう」と助言を受けていました。

当時、幸いにして非常勤で市場対応のお手伝いをさせていただくことになったこと、たまたま総務省が地デジ化の準備として栃木県北部のアンテナ状況を調査するタイミングと重なり、縁あって後方支援させていただくことになりました。

この度の寄稿依頼を受け改めて振り返ってみれば、この状態でも現役中には考えられないほど多くのプライベートな時間が持てるようになり、精神面でも安定していた時期だったと思っています。

具体的には、定年の二年ほど前に小山市へ嫁いでいる娘が長女（マゴッチ）を出産した為、このマゴッチをほぼ毎週、土曜日に迎えに行き日曜日に送って行くなど車で出かけることがやたらと多くなり、八年間で約十万㎞を走破しました。

また、元々の趣味はクラシックカメラでの風景撮影くらいでしたが、このマゴッチを山へ川へ公園へと連れ回しているうちにデジタルカメラに凝るようになり、いつの間にか溜まった膨大な量の画像を管理する必要上、必然的にパソコンへとノメリ込んでいました。

パソコンのスキルに関しては、定年後も同じ職場の後輩が良き先生になってくれ、今では例えばＣＰＵも高性能なコア2デュオに自分で交換できるだけの技量が身に付き、画像の管理・修正に限らずホームページのメンテナンスにも役立てています。

そして昨年、アイドリング期間が終わりマゴッチも今年で五年生になり爺離れの兆しが見られることより、今、この代わりとして何に生き甲斐を見出したら良いのか、これからが我が第二の人生の正念場ではないかと真剣に思い悩んでいる毎日です。

地域と人々

第三班幹事　平山　勝

三班は、会員十名で、地区は中東・安沢・成田の一部となります。東に成田、西に木幡、南に片岡、北は末広町に囲まれた静かな田園地帯にあります。

会員は定年後も農業を営んでいる方々が三割弱を占め、家庭菜園を楽しんでいる人達を含めると半数近くが何等かの形で、菜園や園芸等を楽しみながら毎日を過しておられます。このような人達の他にも、個人的にそれぞれ楽しみを持っている仲間が多いのですが、社友会等の行事に関しては、私（幹事）の働きかけが不十分なこともあり、「参加人員が少ない（参加平均2.5人）」のと「参加する方は同じメンバーに偏っている事が多い」という事にいつも悩んでいます。

でも、個人的にはいろいろな趣味を持つ人が多く、殆どの方が定年後を楽しみながら毎日を健康に留意し過しているのが私たち三班の状況です。

地域の紹介

第十一班幹事　植月　勇

当班は矢板市の北西部に位置し、「幸岡」「長井」「塩田」「片俣」「合会（あいがい）」等の地区が有ります。

「幸岡」「長井」「塩田」は縄文時代から定住生活を

していた様で、当時の古墳が沢山発見されています。

「幸岡」には江戸時代、日光東照宮の改修工事に合わせて開通した「日光北街道」（一六三六年）の宿場として栄えた「高内宿」が有ります。今も高台の旧道周辺にはその面影が家並に残っています。

「長井」は南北約14㎞と広大な地区です。最近は「長井（矢板）のリンゴ」が特産品として有名です。多数のリンゴ園があり秋の収穫期の景色は見事です。

「片俣」には「矢板市総合運動公園」があり、各種スポーツ大会、ウオーキング等で年中賑わっています。陸上競技場からの高原山の眺めは一見の価値ありと思います。

「合会」は、昭和二十四年に二十軒の開拓団が入植し、以来、酪農・養鶏・稲作等が行われました。近年は住宅地の造成が進み市内でも人口増加傾向の数少ない地区の一つです。

当班は、豊かな自然に包まれており、歴史を訪ねるにも、スポーツをするにも、散策をするにも、四季折々の味覚を楽しむにも恵まれた環境にあります。

社友会の皆様も是非足を運んで下さい。（参照文献「矢板史」）

維新と大田原城攻防戦

第十五班幹事　郡司　忠一

大田原郷土史の一端として、維新時の大田原城攻防戦を紹介します。

大田原城は一五四二年大田原資清が築城。江戸時代は一万一千石余の外様極小藩であったが、奥州街道の関東最北の要所に位置していた為、幕府は大砲三門・備蓄米千石を与え奥州への備えとした。

幕末には大田原藩は下野諸藩の先陣を切って勤王に踏み切り、白河城攻略の拠点となる。その為慶応四年（一八六八）五月二日会津藩兵と旧幕府兵の東軍約九百人が、二手に分かれ大田原に進撃。大田原藩では白河に進軍中の百余名に帰城を命じると共に、留守部隊（百数十名）で布陣。戦闘開始と共に兵力の差が大きく大田原藩兵は敗退。戦局は大田原城の攻防となった。大田原藩兵は頻りに大砲を放って応戦。徳川配備の大砲が皮肉にも幕府軍に放たれた。堅城を攻めあぐねた東軍は至る所に火を放つ戦法に変えた。ところが作業場に官軍の小銃弾・大砲弾約五万発があり、これが大爆発。その破裂音に驚いた東軍は我先に城外へ退避。折りしも雨が降っており、日没になりかけた為東軍撤退。城下被災は甚大であったが奇跡に近い守城であった。東軍がなぜ諦めたか（内部の指揮権等の統率力か）は疑問が残る所である。その後大田原藩兵は会津攻略にも参戦。勝者の仲間とは言え名もない大田原藩の如き極小藩の戦いは歴史の記録に名を留めることはない。（参照文献「大田原市史前編」「大田原城の変遷」「維新と大田原藩」）

一般投稿コーナー

シャープ（早川電機）と共に

会員番号　〇三八六
中村　義雄

戦後間もない一九四七年（昭和二十二年）十六歳で早川電機（当時）に入社した私は、栃木支部では二番目に入社が古いのだそうだ。その私もついに八十歳に到達。と思っていたら、会報編集事務局から『我が人生』（一九九九年（平成十一年）発行会報第3号に掲載）の続編の寄稿を強引に依頼され筆を執る羽目となった。

今回は、「現役時代」「社友会役員時代」そして「その後の人生」と時代分けしている。ただ、『我が人生』は、古希を目前にして、シャープ人生の総決算との思いでまとめたものなので、ここにも『我が人生』と類似の部分が多々ある点はご容赦いただきたい。

第一章　シャープ現役時代

私が入社したのは、一九四七年（昭和二十二年）三月九日。ご近所の知人の紹介で当時の早川電機工業株式会社田辺工場へ不定期入社する。直ちに第五製造課へ案内された。従業員は約三十名程度でマグネチックスピーカーを製造している職場だった。私の最初の仕事はワッシャーにビスを通し板盤に並べる単純作業でした。職場の雰囲気は家庭的で明るく、皆さんとても面倒見がよく親切で優しく気持ちの良い職場であった。私は十六歳、坊主頭で服装は国民服にサンダル履き、同僚からはヨッチャン、ヨッチャンと呼ばれ、皆とすぐお友達になれて、毎日仲良く楽しく働いた。課長は保田富蔵さん（通称ヤッサン、後の初代伊東保養所所長―社友会本部事務局長）親しみ易く、親父みたいな優しい課長だった。

その頃日本はまだアメリカの占領下であって戦後の貧困の中、再建日本を目指し全国民が立ち上がろう

としている時代であった。当時の世相を少し述べてみよう。食糧不足で天皇陛下が直接食糧危機突破に関して、日本国民に対し激励のラジオ放送をなされた事もあった。戦時中と同じ芋・とうもろこし・小麦粉・団子等闇市で立ち食いなど、栄養失調等で死亡する人も多く、飢えの暗い世の中だった。生活必需品はすべて配給制、タバコはなかなか手に入らず、トウモロコシの髭・松の枯葉などを手巻きにし、六ツ切りにして、敗戦パイプ（当時の流行品）で吸っていた。早川電機でも週一回加配米といって一人三合五勺の米が支給されていた。時にはコメの代わりに団子・大豆・等の支給もあった。みんな大事に持ち帰り、ご飯ならぬお粥を楽しんで食べたものだ。その頃会社では買い出し休暇があり、洋服や着物などを持って米を求めに農家に行く、つまりタケノコ生活。買い出し客ばかりで列車は満員鈴なり、時々警察の取り締まりがあり命がけの買い出しであった。

ある日、大阪難波の高島屋百貨店でテレビジョンの博覧会があった。未来にこんなものが出来ると夢のテレビが公開され、会場の外を走る市電やバス、人波等が中継放送されたのを黒山の人々の間から見物したのを思い出す。当時早川電機の主体は本社・田辺工場・平野工場・和泉工場等で戦時中は軍需工場として無線機、鉱石ラジオ等生産。私が入社した頃はラジオ生産が主であった。

毎年お正月の初出勤日にはお年玉としてみんなに五〇〇円支給された。誕生日プレゼントもあった。各人・誕生日には重役室に呼ばれ社長自ら「おめでとう」と言われ握手され紅白の饅頭を戴く。何年かして湯呑み茶碗に替わる。約八年ほど続いた。

入社二年後の昭和二十四年・二十五年世の中ドッチライン実施によるデフレ経済の不況に直面。企業の倒産、給料の遅配発生。早川電機も給料が大幅に遅配し、十二分の一・八分の一・四分の一・二分の一と苦しく、電力事情悪化による日曜出勤、そして夜勤もあった。当面、世帯主には一週間三〇〇円の支給、独身者には五十円の支給。組合役員も交渉で大変苦労なされました。故佐伯最高顧問が我々従業員に対し金融面で種々ご苦労なさった事今でも忘れる事の出来ない思い出の一つである。会社はこの不況脱出の為希望退職の募集提案が示され私もずいぶん悩みました。退職者には退職金に補足したラジオ受信機が支給される事になり、計二百六十名の仲間達が早川電機を去った。私は幸い兄や姉達に助けられ辞めずに居残る事にし、会社再建に意欲を燃やす事にした。給料遅配は八ヶ月も続いた。

我々電機業界に明るいニュースが飛び込んで来た。それは民間放送の開始である。一度に四局の放送局が誕生、ラジオ黄金時代がやって来た。

早川電機も次から次へと提供番組を世の中へ送り出し、ラジオ受信機も次々と新製品を創り出しマジックアイのヒット商品を発売大変な人気商品となった。明るいニュースの連続で増産々々でラジオ受信機は飛ぶように売れていった。我がスピーカーもダイナミック型に改良され音質で勝負したのもその頃であった。

一台のラジオに低音・高音と二個のスピーカーが付くスーパーラジオに人気が集中した。民放ブームに市場が沸き、需要も増大し、ラジオ聴取者は一千万人を超えた。我々スピーカーの職場も当初手押し式ラインも検討、改良等によりベルトコンベアー自動式へと移り変わり、増産々々の毎日が続く。希望退職した仲間たちも次々と職場へ復帰し第五製造課は大きく成長していった。係長に復員された沢井明さんを迎える。軍隊意識が強く怖い係長であった。間もなくして営業部へ異動された。

我が国初めてのテレビ受像機の試作に成功（昭和二十六年）。その後スピーカーは東洋電機へ全面移管される時がやって来た。スピーカーだけでなく、テレビの各種部品完成品はすべて外注生産となる。私達はスピーカー無き後、各職場へ分散する。私はテレビ第一工務課へ配属された。主にキャビネット廻りの部品を担当。平野工場や発注先のナニワ工機（尼崎市）などへ飛び廻った。発注・受入・管理等を受持った。

一九五五年（昭和三十年）一月シャープテレビが颯爽とデビューした。当時の価格は十四型で十七万五千円。販売店、デパートの店頭は黒山の人だかりで当時人気絶頂の力道山のプロレス中継に人々は熱狂していた。「目で見るラジオ」と驚喜の声が上がり、シャープテレビの名は新しい映像生活へと全国に広がっていった。

昭和三十四年八月八尾工場が完成電化製品の専門工場となり、夢の家庭電化商品が一気に花咲く。続いて、奈良郡山工場が完成。シャープ電卓の生産メッカとして世界にその名を知らせた。翌年三十六年には我が国初めての電子レンジが量産開始。続いて、広島工場・栃木工場が誕生。カラーテレビが栃木工場へ移動。五年後には白黒テレビも移動し

た。海外にも生産工場を次々と建設。アメリカテネシー州メンフィス（SMCA）で早々とカラーテレビ・電子レンジの生産を開始。

一九七十年（昭和四十五年）一月早川電機からシャープ株式会社に社名を変更。エレクトロニクスメーカーへと大きな転換を遂げた。また、早川徳次社長から佐伯旭新社長の新体制となった。

私はその後工務課から部品管理部へ移り、副資材を担当する。そのまま、一九七二年（昭和四十七年）十月、栃木工場へ転勤となる。生まれ育った大阪の思い出を胸に遠く離れた栃木矢板へ決意も新たに・・・。間もなくビデオの生産が始まった。最高月産三十二万台生産した、あの頃が懐かしい。

一九八一年（昭和五十六年）には奈良新庄町にソーラー専門工場が完成。年号が変わり平成元年には一〇〇インチの液晶テレビジョンが登場した。「液晶のシャープ」の名を不動にした年でもあった。その後コードレス留守番電話が業界トップの空前の大ヒット商品となり、売上一兆円に達した年でもあった。

そして、私は、一九九〇年（平成二年）満六十歳で、四十三年余のシャープ勤務の現役を無事終えました。

第二章　社友会役員時代

シャープ社友会は、一九八〇年（昭和五十五年）四月に創設。平成二十二年に三十周年を迎えています。会員七四名でスタート、今では四、四〇〇名に。

一方、栃木支部は、一九八九年（平成元年）十月に、会員四八名で発足、一昨年二十周年を迎えています。

私は、支部創設翌年の平成二年十月二日の定年退職と同時に、栃木支部に入会。会員数は六六名でした。

その後会員数は、平成十年に百名、十六年に二百名、二十一年には三百名を越え、現在は三六十名に。入会二年後の一九九二年（平成四年）、浦川支部長（現顧問）に誘われ、事務局長兼会計に就任。事務局長は、会計を兼務していた九年間を含め、平成十六年まで十三年間担当。平成十七年から二年間の副支部長を含め、足掛け十五年間、私なりに社友会の発展のために務めさせていただきました。創設間もない時期に就任したこともあり、何かと戸惑うこともありましたが、皆様の温かいご支援とご協力のお陰で無事務めることができ、感謝しております。

支部会報は、支部総会十周年の年（平成十年）に創刊。今日に引き継がれていることは喜びのひとつです。

事務局長就任早々の三年間、本部の総会に出席することになり、青春時代を共に頑張った大阪の旧友達と逢えたことは、今でも懐かしい思い出のひとコマです。

事務局長時代は、一人でも多くの皆さまに社友会のクラブ活動や行事に参加して欲しいという思いを強く意識していたこともあり、退任した今でもそのことが気にかかっています。

第三章　その後の人生

私は、平成二十二年十月で八〇歳となりました。これは、厚労省データによる平成二十一年に誕生した男性の平均寿命（七九．五九歳）を超えるのだそうです。

また、八十歳の人の平均余命が九・三歳とのことなので、順調にいけば、米寿も迎えられそうだとか。

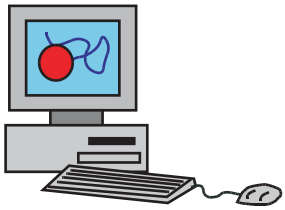
社友会の役職を離れ早や四年が過ぎた。働き癖がついているせいか、今もボランティア活動に参加し精を出しています。このことで少しでも元気が保てればとの思いもありますが、これからも肩意地を張らずにマイペースを心掛け、平均余命を上回れるよう過ごしていきたいものです。

私は、栃木に居を移して三十八年が経ちましたが、いまだに、阪神タイガース大好き人間です。（会報一三号、十七号の掲載記事をご覧ください）昨年も健闘むなしく優勝を逃しましたが、今後も阪神タイガースファンであり続けるつもりです。

シャープは、昨年九月二日テレビ東京で放映された経済ドキュメンタリードラマ「ルビコンの決断」でも紹介されたように、二〇〇〇年年明けに、世間はもちろん社内の者をもアッと言わせる『二十世紀に残すもの＝ブラウン管、二十一世紀に持っていくもの＝液晶テレビ』を発表。その後、亀山ブランド液晶テレビへの積極的な取り組みで、液晶テレビ時代を見事に実現。近年ではさらに、第十世代液晶パネルと太陽光モジュールの工場「グリーンフロント堺」を立上げ、環境時代の先進をいく企業として業績を飛躍的に伸ばしているようです。

大きく進展する我がシャープの雄姿は、私共余生を過ごす者の誇りであります。

シャープと阪神タイガースの頑張りを期待し筆を置きます。



パソコンクラブ

入会申込・問合せ先
会　　長：仲谷　輝郎
Ｔｅｌ　　：028-621-8670
事務局　：山路　規生
Ｔｅｌ　　：0287-37-0125

パソコンクラブの紹介

入会金：不要です
年会費：２,０００円
定例会：毎月１回（第１水曜日）　午前１０時～１２時　　於：社友会室
　　パソコンに関する情報交換や研修会の日程・懇親会の開催に関して相談を行います。
研修会：毎月１回（第３水曜日）　午前９時半～１２時　　於：社友会室
　　特定のテーマは決めずに、各自の覚えたいことや問題点を持ち寄り、会員が相互に教え合う方法でやっています。　**優しくと親切をモットー**にしています。

栃木支部会報「ｎｉｋｋｏ」のページ編集を担当して、文書作成や写真・イラストの挿入など必要に迫られることがテクニックの向上に繋がっています。
その他、音楽（カラオケ）写真の縮小など各人のノウハウを披露して、新しいテクニックを勉強しあっていますので、是非、会場の見学をお待ちしています。　　更に具体的には

パソコンを使用することはボケ防止に繋がります！！

パソコンだけならこんな事が出来る

【Ｗｏｒｄでは】
◎面白い文字を使用したり、見やすいレイアウトを考慮した催し案内状の作成
◎写真やイラストを入れた案内状の作成

【Ｅｘｃｅｌでは】
◎自分流の住所録が出来、行事・記念日などが管理出来る
◎個人の名前を入れて色々な成績表が作れる
◎その表をグラフに出来る

【デジカメ画像処理】
◎写真の編集（明度調整、色合い調整、回転、モザイク、トリミング等）
◎写真の縮小処理

【その他】
◎ゲームで頭の体操

更にインターネットをつなげば

こんなに便利な事が出来るよ！

◎ガーデニングや料理レシピで知りたいことが直ぐに調べられる
◎旅行先の名所や案内が調べられる
◎無料カラオケが出来る
◎電車の時刻表検索、ルート検索
◎無料メールが出来る
◎悩み事相談の解決方法がわかる
◎知人の家の場所が検索できる（地域によっては、家の写真も見られる）
◎庭木の剪定方法検索、害虫処理等
◎飲食店等の各種割引券ゲット
◎見忘れたＴＶ番組の後日鑑賞
◎全国の名物・名産が取り寄せでき、割安の訳有り商品が買える

会員の紹介

８月に廣田さんが入会されて、以下のメンバーになりました。

安東　郁哉	青木　正和	浦川　正司	木村　　正	佐藤　龍雄	中村　義雄
仲谷　輝郎	日置　久義	廣田　哲雄	平山　　勝	古市　正昭	福本　英之
三友　宏章	山崎　一義	山路　規生			

ゴ ル フ 同 好 会

平成２２年度活動報告

２２年度のコンペは下記の４回を実施致しました。新規会員の数も増加して９月度の参加者は６８名・１１月度は５３名となり、益々活発化しています。
同好会メンバー相互の親睦と健康維持の為、出来る限り参加者が楽しい一日を過ごせる様に活動をしています。

『 平成２２年度活動状況と予定』

NO	実施日	内容	場所	参加人員数
1	5月２５日	第７３回コンペ	千成　ＣＣ	４４名
2	7月２６日	第７４回コンペ	隧縁鬼怒川森林ＣＣ	４９名
3	9月２９日	第７５回コンペ	千成　ＣＣ	６８名
4	１１月２６日	第７６回コンペ	琵琶池ＣＣ	５３名
5	3月２８日	第７７回コンペ		

コンペ入賞者

	第７３回	第７４回	第７５回	第７６回
優　勝	松内幸男	針原周五郎	木島忠男	安部敏行
準優勝	生嶋良幸	前野雄二	杉山隆夫	梅川　勝
３　位	辻　勉	星野幹夫	大橋堅固	合田　研
ベスグロ (スコアー)	生嶋良幸 （８１）	河越泰博 （３９）	大橋堅固 （７８）	徳田義文 （７７）

第７４回コンペは雷雨によりハーフコンペとなりました

千成ＣＣスタート前と懇談風景

新 会 員 募 集

連絡先　幹 事 ：今 泉 正 男　☎ 0287-44-1073

歩　こ　う　会

◆活 動 状 況

◇第６８回　薬師岳・夕日岳
Ｈ２２年　５月３０日（日）参加人員１５名

◇第６９回　乗鞍岳
Ｈ２２年　７月２５日（日）参加人員２８名

◇第７０回　鶏頂山
Ｈ２２年　９月１２日（日）参加人員１８名

◇第７１回　奥鬼怒温泉郷
Ｈ２２年１０月１７日（日）参加人員２３名

◆平成２２年度スケジュール

Ｎｏ	実　施　日	行　　先	
第７２回	Ｈ２３年1月２３日(日)	本山(562m)・懇親会	宇都宮
第７３回	〃　　３月１４日(日)	両崖山(251m)～天狗山(259m)	足利

◆歩こう会の案内

◇栃木県内又は近県の山、渓谷、景勝地の日帰りトレッキング（軽登山又はハイキング）
◇コースは初心者向き、一般向きを交えて実施。歩行距離６～８Km,３～４時間程度。

◆会員の募集

◇入会金　　年会費 2,000 円（10 月以降の途中入会は 1,000 円）但し　家族会員は不要。
◇入会申込　　歩こう会の会長又は役員まで気楽に連絡下さい。　◇年度切替えは４月度より。

◆参加申込

◇例会の案内：詳細は、その都度会員宛にハガキにて連絡しています。
◇参　加　費：案内に基づく〆切りまでに、参加費の振り込みを以て参加の意思表示としています。

平成２３年度新規会員募集中です。興味のある方の入会を歓迎します。

問い合わせは　（幹事）　尾 崎　亘 宏　　Tel　0287-44-0612　　迄

☆ 紅葉風景の撮影会実施

恒例の紅葉風景撮影会を、昨秋１１月１３日（水）に実施し、福島県の桧枝岐に出かけて、赤や黄色に染まったブナ林を中心に秋色の風景撮影を楽しみました。

草紅葉と樹木紅葉の競演

ブナ林の黄葉

カラマツに絡む紅葉

〜〜

☆『矢板の四季』観光写真コンテストに入賞！

第２９回『矢板の四季』観光写真コンテストに当社友会カメラクラブからも数名が応募し、推薦、入選、佳作にそれぞれ入賞しました。
入賞作品は、１１月２日〜３日に開催された『矢板の工業と物産展』会場に展示され、１１月３日の「ともなり祭り」会場で表彰されました。

・推薦 「渓谷陽光」 田代宏明
・入選 「霧中の華」 只友将弘
・佳作 「銀杏拾い」 志賀　実
・佳作 「春の到来」 村井敏一
・佳作 「花の階段」 田代洋子
（田代夫人）

（写真左）表彰式の模様、（写真右）遠藤市長から田代氏へ表彰状授与

〜〜

☆ 第 19 回『自然の緑写真コンテスト』に入賞！

（財）グリーントラストうつのみや主催の「自然の緑写真コンテスト」入賞、去る１０月２日表彰されました。

・最優秀賞 「乱　舞」 田代宏明
・佳 作 「霧に纏われて」 只友将弘

〜〜

―写真コンテスト入賞作品は、いずれも裏表紙に掲載―

<u>カメラクラブ新会員募集中！</u>
連絡先　幹事：　只 友 将 弘　　携帯　090-3248-7309

カラオケ同好会

＜入会申込・問合せ先 ＞
会　長 ： 福永 勝行
(TEL) 0287-44-1109
事務局 ： 青木 正和
(TEL) 0287-44-1332

♪♪ カラオケ新時代 ♪♪

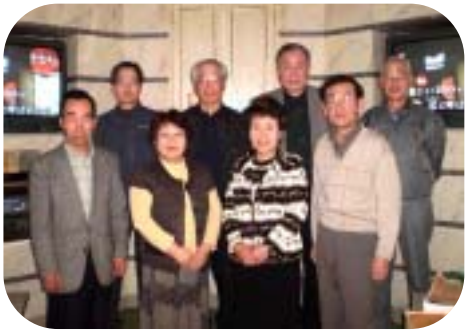
カラオケ同好会も、発足当初から大きく様変わりし、男同志の歌自慢から、若い（？）女性を交えて益々楽しい社交場へと変身！勿論、デュエットも楽しめます。公正なＤＡＭの採点に一喜一憂し、毎回トップ賞とブービー賞も用意され、会員一同ダブルの楽しみを満喫しています。対外活動ではコリーナ矢板温泉にて開催の「コリーナ歌謡の集い」に、当同好会より有志が出演し、堂々たる歌声を披露しました。女性会員には、特別に門戸を広げ、皆さんの家族・友人まで、幅広く募り、みんなで仲良く熱烈歓迎！出席者が１０人以上になれば、２組に別れて開催することも検討中です。益々目が離せない毎月一回の開催が待ちどおしい熟年サークルです。ゆっくりとアラコキ（アラウンド古希）をしている場合ではありません。たかがカラオケ、されどカラオケ。入会も随時可能です。

歌好き・歌上手なヒト！　余生をエンジョイしましょう！！

＜定例会活動状況＞

実施日	実施場所	参加者数
1/12	カラオケ BanBan	7名
2/9	カラオケ BanBan	9名
3/9	カラオケ BanBan	9名
4/13	コリーナ矢板	8名
5/11	コリーナ矢板	8名
6/15	コリーナ矢板	9名
7/13	コリーナ矢板	8名
8/10	カラオケ BanBan	8名
9/14	カラオケ BanBan	9名
10/12	コリーナ矢板	8名
11/9	コリーナ矢板	7名
11/30～12/1	鬼怒川ロイヤルホテル	7名

7月 歌謡の集い出演


3月 定例会参加者

7月 歌謡の集い出演

4月 定例会参加者

『 目ざせ満点パパ 』 カラオケ好きの皆さ～ん！

是非、カラオケ採点機能で満点にチャレンジしてみませんか。
まだ、満点は出た事がありません。

『 今迄の最高得点 』･･･ ９９５点 ／ １０００点満点
９８点 ／ １００点満点

＜ 同好会会員 ＞							
福永勝行	青木正和	村上五十六	城本 昭	古市正昭	丸渕孝文	三堂地時臣	島田次秀
山本正和	浦川正司	津久井秀一	徳田 浩	福本英之	細川美生	手島 正典	上野 弘子
小倉麗子	古市和子	泉口トシエ				《 計 19名 》	

新入会員紹介

（平成二十二年四月一日～九月末入会者）

会員番号　五〇五二
佐藤　節夫
一九四五年四月二十九日生

退職してから早いもので、六ヶ月が経ちました。

ゆったりとした時の流れに浸りながら、研修会、旅行、ハイキング、音楽観賞会等々に充実した日々を過ごしています。

先人の言う「朝は希望に起き、昼は努力に活き、夜は感謝に眠る」というライフスタイルです。

社友会の皆様には、今後とも何かにつけお世話になりますが、よろしくご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

会員番号　五〇五九
印南　敏雄
一九五〇年四月十五日生

在職中は、四十一年栃木工場のみの勤務でした。皆様には大変お世話に成りました。

直近の二年間は生産部で液晶テレビの生産ラインで働かせて頂きました。

お陰様でメタボが解消し、退職後の稼業である野菜作りも楽々と健康的な日々を過ごせています。

貴重な経験だったと思います。

今後ともご指導ご鞭撻をお願い致します。

会員番号　五〇六〇
鈴木　敏昭
一九五〇年五月十二日生

退職し約半年となりますが、退職前にあれも、これも、と考えていましたが「時間の活用」は思ったより簡単ではないと実感しています。

趣味の「体を動かす」、「写真」と「のんびり」を適度にミックスさせて過ごしたいと考えています。

宜しくお願いします。

会員番号　五〇八一
伊藤　福三郎
一九四六年十二月八日生

この七月中旬に矢板へ戻ってきました。遡ると二ヶ月の天理勤務の後、約十年間の関係会社であるシャープ三重（株）への出向をしていました。退職後のセカンドステージについてもまだすこしも確立できていないので、今後の人生や矢板の生活等について諸先輩の皆様からいろいろとご指導を頂けたらと思います。宜しくお願いいたします。

会員番号　五〇八二
廣田　哲男
一九四九年六月六日生

退職後は先ずは地域に溶け込むことが一番と思い、シャープスポーツセンターで太極拳教室のインストラクターをやっている関係で、地元団地内で太極拳体操を指導しています。更に大田原市ふれあいの丘天文館のボランティアもしています。

昨年からは放送大学で福祉コースの勉強をし始め、十月からは県北産業技術学校の福祉コース短期課程にも通っています。

今後は大田原市の介護予防活動で地域貢献を目指しています。

会員番号　五〇八三
須佐　實
一九四九年十月二十日生

退職してからも現役時代から続けていた、ソフトボールの審判をやっています。

パートを始めましたが、なかなか思うようにいかず四苦八苦しています。最近では、庭木の手入れの勉強をしていますが、なかなか大変です。気長にやろうと思っています。

今後ともご指導よろしくお願いします。

会員番号　五〇八四
滝田　勝美
一九五〇年五月十九日生

今年の五月に定年を迎え、社友会栃木支部に入会させて戴きました。

今後、皆様方と親交を深め、楽しく過ごして参りたいと思っています。よろしくお願い致します。

会員番号　五〇九五
山口　勉
一九五〇年七月二日生

退職し早くも半年が過ぎました。多くの皆様方にご協力を頂きましたこと、誠に感謝申し上げます。

「ゆっくり、ゆったり」と考えておりましたが、なかなか思うに任せられず、日々格闘しております。

今後は社友会の皆様の活動に参加して参りたいと考えておりますので、宜しくお願い致します。

会員番号　五一一三
花井　忠芳
一九五〇年七月十五日生

今年　七月に定年退職し、社友会に入会させていただきました。
諸先輩のご指導を頂き　定年まで無事働かせて頂きました。感謝致しております。
現在は愛犬との散歩など休養に努めております。
今後とも宜しくお付合い頂きます様お願いします。

会員番号　五一五八
金井　猛
一九五〇年七月二十六日生

この度、ＳＦＣを定年退職し栃木支部に入会させて頂く事になりましたので宜しくお願い致します。
営業畑一筋で仕事をさせて頂きましたが、全国各地を転勤。漸く故郷　群馬に帰ってきました。
今後とも皆様のご指導宜しくお願い申し上げます。

会員番号　五一六四
豊田　康雄
一九五〇年九月二十七日生

今年九月、亀山事業所にて約七年間の単身赴任を終えて定年退職となり、この度、社友会に入会させていただきました。
これからは体力の維持に努めながら第二の人生を謳歌したいと思います。

今後とも、皆様方のご指導の程、よろしくお願い致します。

写真・メッセージをいただけなかった皆様は、会員番号、氏名、誕生日のみ紹介いたします。

会員番号　五〇四六　松元　幸春
一九四九年三月二十三日生

会員番号　五〇六一　磯　要一
一九五〇年五月三十日生

会員番号　五一一二　河野　順一
一九五〇年六月十六日生

会員番号　五一五七　安田　幹雄
一九四八年二月十一日生

会員番号　五一五九　加藤　伸
一九五〇年八月一日生

会員番号　五一八七　高橋　利行
一九五〇年九月六日生

会員番号　五一九七　小林　芳政
一九五〇年九月二十二日生

“喜寿”“古希”

（７名、敬称省略）

喜寿

561	道畑　一三	８月１６日

古希

1626	柿内　健一	４月　５日
1912	吉田　稔	４月２７日
1678	山口　一武	７月１０日
1692	川崎　精一	７月２４日
1696	田村　榮	８月　４日
3491	鈴木　宏之	９月１５日

重要連絡事項

ある場合、自班幹事、又は左記にお知らせください。

シャープ(株)ＡＶシステム事業本部
(平日)　０２８７（４３）１１３１（代表）
社友会 栃木支部 事務局（内線２８９９）
総務部（内線２８７３）
(休日)　０２８７（４３）１１４３
保安課
〔最初に、「社友会の○○（又は○○の家族）」と告げた上で、用件をお伝えください。〕

表紙説明

『中禅寺湖畔より男体山』

中禅寺湖畔の売店奥、洒落た建物の後ろに、雪を冠った男体山が見える。
男体山は中禅寺湖の北岸にそびえ立つ、標高２４８６メートルの雄大な山で、山全体が二荒山神社の聖域となっている。（撮影　只友将弘）

編集後記

「ｎｉｋｋｏ」第二十七号をお届け出来ます事を感謝します。
ブラウン管から液晶カラーＴＶへの英断が、薄型ＣＴＶブームと今夏のデジタル化時代を迎える先駆けとなっている事を喜びたいと思います。
支部活動の情報誌の役割が果せますように願っています。（仲谷）

★★★ 入賞作品紹介 ★★★

『矢板の四季』観光写真コンテスト　入賞作品

佳作　銀杏拾い　志賀　実

推薦　渓谷陽光　田代宏明

入選　霧中の華　只友将弘

佳作　花の階段　田代洋子

佳作　春の到来　村井敏一

『自然の緑』写真コンテスト　入賞作品

最優秀賞　乱舞　田代宏明

佳作　霧に纏われ　只友将弘